



ぐーだより

第14号

編集・発行

社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち

〒329-1105
宇都宮市中岡本町3178-3
TEL 028 (673) 0002
FAX 028 (671) 0785
✉ kawachi-yotsubakai@rouge.plala.or.jp
✉ http://kawachi-yotsubakai.or.jp/

印刷／藤崎印刷株式会社

「思ひ出の地で、再び・・・」

常務理事兼事務長 角田孝之

一人一人の笑顔を大切に前進あるのみ

施設長 渡辺みゆき

今年は例年になく厳しい寒さが続いている。日頃より大変お世話になります。事業所ではインフルエンザ等の感染もなく、利用者の皆さん明るい笑顔が温かい気持ちにさせてくれます。

昨年開所したグループホーム「よつば荘」も1年を迎えます。親元から離れ、共同生活を始めて少しづつですが本人なりの楽しみが増えてきたり、一つひとつできる事が増えたり、仲間同士で助けあつたりしています。そんな中、支援者側は右往左往しながら利用者の生活を支えている状況です。一人ひとりの普通の生活を支援する、その支援の重要さをしっかりと足元から見つめ直し、安心のできる生活を目指し一歩ずつ進んでいきたいです。

平成30年度は新体制となります。新施設長の下、社会福祉法人河内四つ葉会グーフォ・かわちの更なる発展をお祈りいたします。利用者の皆様、保護者の皆様、職員の皆様、関係機関の皆様 大変お世話になりました。ありがとうございました。

ろしくお願いいたします。

文化事業団から頂くことになった「福祉相撲場」（日産セレナ）の贈呈式には、Mさんからむりくりた最新情報を頭に入れ緊張せずに国技館に行つて貰うことができました。このような私ですが、今後とも、「河内四つ葉会」会員の皆さんの積年の尽力への敬意を忘れず、加えて、旧知のそして新たな朋友との活動を喜びとして、微力を尽くして参りたいと思います。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



35年前、訪問先が見つからず雨の中を彷徨つた奈坪地区周辺に、今では「ホンダ行き」と書かれた大型バスが何台も行き交っています。ある時は、真っ黒に日焼けしたH子さんが雑木林の中を楽しそうにチャリを漕ぎ回つていたり、お邪魔したご自宅で卒業間近になったK君の進路についてお母さんと話し込んでしまったりと、懐かしい記憶が蘇ります。また、釜井台団地公園近くに建ち上がった小規模作業所には、工場の下請け作業に懸命に取り組む利用者さんの姿と、それを見守る役員さんやボランティアさんの温かい眼差しがありました。我が家に授かった双子の女兒の顔見せに、転勤後の挨拶を兼ねてお邪魔したこともありました。

そんな懐かしい地域で、再び障害者支援のお手伝いをさせていただけたことになりました。小学生たった皆さんが成人となっていたり、地域の中で自立した生活を始めた方たちもおられます。

29年度の行事・地域との交流のふりかえり

- 4月 花見（作業班ごと）
- 5月 作業体験会
- 6月 班別外出（カラオケ・遊園地）
- 7月 施設見学（むつみの森他）
- 8月 親子バーベキュー
- 9月 うつのみやふれあい文化祭
県障害者スポーツ大会
- 10月 ハートフル体育祭
第10回グーフォ祭
スポーツ交流会
- 11月 県障害者文化祭
かわちふれあいまつり
- 12月 クリスマスチャリティー公演
クリスマスコンサート
もちつき
クリスマス会
- 1月 初詣・新年会
- 3月 ふれあいボウリング大会
自治会主催行事



▲BBQ



▲施設見学



▲班別外出



▲ハートフル体育祭



▲新年会

29年度 トピックス

「わく・わくアートコンクール」inうつのみや2017

3名の方が入賞されました。おめでとうございます！

【審査員特別賞】飯岡真悠子さん 【わく・わく賞】尾上絵美さん、高塩竜二さん

ご寄付を頂いた個人・団体のご紹介

- 物品関係（順不同）
 - 環境整備株式会社様、NPO法人とちぎボランティアネットワーク様、栃木銀行様
 - フードバンク宇都宮様、保護者の皆様、五月女 純様、近隣農家 田村様、深谷明功様
- 寄付金関係（順不同）
 - 保護者会の皆様、石渡安夫様、加藤英男様、磯町三男様、濱 英祐様
 - 味野和博子様、四閨 勲様、山田文子様、斎藤沙織様、千代和子様
 - 株式会社ひびき様、前嶋 昭様、大橋紀元様

NHK厚生文化事業団から「福祉相撲号」を寄贈される！

全国で6台の寄贈される団体を代表し、2月10日(土)に国技館での「福祉大相撲」で贈呈式があり、ステージ上で角界関係者や相撲ファンが見守る中、角田事務長が横綱・白鵬から大きな「ゴールデンキー」を授与されました。

冬時間の初導入

数年来議論をしてきた冬時間を初めて実施。大きな混乱もなく実施できた為、新年度以降も短縮日課を行っていきます。

「弁当の日に」お弁当屋さんが移動販売に来てくれることに！！

「藤」によるお弁当で150円～360円で購入出来てとってもお得!!毎回楽しみにしている方も多いです。メニューも多く、迷っちゃいます。



▲環境整備株式会社様での贈呈式

▲国技館で横綱白鵬からキーの贈呈
(TV映像より)

▲写真提供: 牧田さん

各作業グループ報告



29年度は古田康之職員が加わり、さらに活気溢れる利用者も6年目に入り、全体的に作業スキルが向上しています。一番若い組む事が多くなってきました。また、その日の担当作業に取り組むだけではなく、メンバーや職員の作業状況に応じて手伝う等、協力し合う事も出来るようになってきました。

今年度に新しく始めた主な仕事として三つあります。(1)申内地区自治会との花壇植替え作業(2)金井台公民館農産物販売(3)じゅうさぎ荘花壇植替え作業です。上記の仕事を通してグーフォの事を地域の方々により知つてもらい、利用者も作業に対するモチベーションや責任感が向上する等、良い機会となりました。

特に、②については、今まで農産物の販売を利用者が行う事は少なかつので、販売経験を通して、少しづつですが挨拶やお礼等を自然に言えるようになつてきました。また、普段の対人関係でも言葉遣いに気をつけ、話せるようになりました。最後に、普段の対人関係でも言葉遣いに気をつけ、話せるようになりました。

最後に、作業グループといった限りのペースで着実に変わつてきている事を強く実感しています。今後も利用者一人ひとりの最適な自立に向けて、サービスが提供出来る事を望んでいます。そして、地域の方々と知り合えた沢山のご縁を大切にして、グーフォがますます発展する事を切に願っています。(家富 歩)

29年度もパン工房、みんなで協力をして、お客様の一ีchesに合った商品の提供に努めてきました。今年度は数年間力を入れて進めてきた焼き菓子の注文を多く頂きました。お客様の求めている「焼き菓子の詰め合わせ」の要望に応え、時には100セットを超える大量注文を丁寧に心を込めて製造することで、毎年の注文に繋がり、お客様から新規の方へと広げることができました。これも、どんなに忙しくても利用者一人ひとりが責任をもって、丁寧な仕事に取り組む姿によるものだと思います。

しかし、利用者個々の支援の見直しも課題としてあります。開所から11年が経ち、利用者の平均年齢も上がってきていました。朝から一日を通して忙しい立ち仕事に取り組むことは、集中力や体力を使います。年齢や体調、季節によっては一日を通しての体力や集中力の継続が難しくなっている方がいるのが、パン工房の現状です。一人ひとりのストレングスやニーズ、現状からできる支援を情報共有し、話し合いながら支援に繋げ、「パン作業が楽しい!」「グーフォが楽しい!」と思える環境をつくることができたら…と思つています。(端田芹那)



今年度は地域との関わりが多い年になりました。プリントTシャツの製作では地元のテニスチームやバレーチーム、古里中学校の保護者様から運動会で三年の担任の先生にプレゼントするための注文も頂きました。大口の注文にも対応することができ、多くの方に喜んで頂くことができました。卒業の記念やお孫さんへのプレゼントにも最適ですので、お知り合いの方に宣伝して頂ければ幸いです。

新年度も地域との関わりを大事にしどちぎの発送業務も今年度も受注することができます。全国各地に発送される広報誌の封入作業も1400部を超える部数を4日程で仕上げることができます。丁寧に早くをモットーに作業が行えています。

新年度も地域との関わりを大事にしつつ、閑散期にも仕事を受注し、通年にわたり仕事を行うことができる状態を維持したいと考えています。利用者と協力して、より良い施設生活が送れるように努めて参ります。(柏崎紀彦)



グーフォ開所からご尽力頂いた中野滋職員が今年度をもって退職されたこととなりました。この場をお借りしまして、大変お世話をなつたことにお礼申し上げます。当面は製品作りのボランティアとしてご協力頂けることになっていますが、急な注文や大量の注文などは難しくなると思います。新製品として「スマホケース」を販売したところ、施設内や「わく・わく・ショット」で好評で、追加注文が来る程度です。今後は、定番の人気商品と共に製作をお願いしていきます。

農園芸

パン

受注

織物

グーフォを支えて 下さっている方のご紹介



利用者の余暇活動の充実のために、音楽やダンス、絵画等のクラブ活動のボランティア講師を募集しています！

- さき草ボランティアの皆様
- 林田 国博さん
- 福島 玲子さん
- 高野 純一さん
- 飯野 達央さん

- 見目 勝義さん
- 羽生 恵一さん
- 山本 佐弓さん
- 河内地区民生委員
- 児童委員の皆様

作業ボランティア

パン販売ボランティア

よつば荘談話室

よつば荘は、昨年4月に海道町にオープンしたグループホームです。定員7名と3名の短期入所で現在6名が生活しています。親元を離れての共同生活は、想像以上にみな馴染んで楽しく生活しています。初めての洗濯や掃除分担など、一緒に暮らす仲間同士助け合って生活しています。

そんなよつば荘の生活を、3人の世話人がサポートしています。週末には買い物に行く人、自宅に帰る人、思い思いに過ごします。沢山の楽しいことをみんなでみつけ体验し、樂しへ過ごしています。

（青木秀子）



みんなでお手伝い▼



▲開所式

保護者会活動につきまして、濱理事長をはじめ職員の皆様、保護者の皆様には大変お世話になつております。平成29年度の主だった活動は次の通りです。

7月

松永千恵子先生を講師にお迎えし、グループホームについて学習会を開催しました。

10月 第10回グーフォ祭で模擬店を開催。メニュー変更と一部値上げにより収益が増大しました。

合同新年会が、ホテル東日本宇都宮で開催され、食事

やゲームを楽しみました。

グーフォ・

かわちが将来にわたり、利

用者にとって生き生きと樂

しき通所出来

る施設であり

続けられるよ

う願つてあり

ます。



▲勉強会の様子

保護者会より

平成29年度を振り返って

保護者会会長 郷間 ミツア

保護者会活動につきまして、濱理事長をはじめ職員の皆様、保護者の皆様には大変お世話になつております。平成29年度の主だった活動は次の通りです。

12年前、グーフォの開所時にもこのような状況がありました。今まで何もない日常を過ごしていますが、開所後の数年は失敗の連続でした。過去の失敗や経験を教訓としたからこそ、「今」があります。

「よつば荘」も多くの失敗や経験を重ねて、しっかりと基礎を作ろうとしている最中でもあります。家に例えるなら、杭やコンクリート打つて土台を作り、柱や屋根が掛けられるよう努力している段階です。失敗や問題という貴重な経験を「礎石」のように丁寧に積み重ね、柱や屋根の重さに耐えうる基礎を作りたいとの確信しています。「失敗は成功のもと」の諺を信じて…。

平昌五輪での日本選手団の活躍は記憶に新しいところです。レジエンドや若い力、チーム力、快挙などもあり記録と記憶に残る大会となりました。女子カーリングの日本チームのように、河内四つ葉会でも、つらい時やうまくいかない時こそ笑顔や声をかけ合い、「チーム力」で難局を乗り越え、百花繚乱のごとく金メダル級の「笑顔の花」を咲かせたいものです。（郷間俊彦）

編集後記

